

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	学校・家庭・地域が連携した教育の推進			総合計画コード	314
部名	学校教育部	主管課名	教育指導課	主管課部課コード	110300
関連部課名	生涯学習部(生涯学習・スポーツ課)				

1. 施策概要

めざす 目的成果	学校において地域の人材が教育活動に関わることで、地域に根ざした特色ある学校づくりが推進されている。また、地域における奉仕活動・体験活動・防犯活動等を推進することにより、地域で子どもを育てる意識が醸成され、地域の教育力が活性化している。				
施策概要	各学校における特色ある学校づくりを推進するため、支援員として地域の人材を活用する。また、中学校区における学校・家庭・地域のふれあい活動を推進する。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市教育振興基本計画	計画期間	H 25 年度	～ H 34 年度
				H 年度	～ H 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	・各小・中学校において、地域の様々な分野の専門的な知識や技能を有する市民を、支援員として授業や部活動、教育環境整備等に活用した。 ・学校評議員を校長の推薦に基づき、各学校5名委嘱した。 ・関係各団体代表者及び中学校区事務局長等で推進委員会を開催するとともに、各中学校区を単位とした実行委員会を組織し、地域の実態に応じたふれあい活動を企画、実施した。(全中学校区で実施) ・小・中学校3校において、教職員を講師にレッツプレイKIN－BALL、バドミントン教室(2学級)の3講座を、学校開放講座として実施し、市民の学びの場の充実を図った。					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	地域の方々の多くの目を通して、子供たちの成長を見守る活動を行った。				
	子育てが しやすいまち	家庭教育学級等を含め、家庭と学校の協力を推進した。				
	つながりのある 元気なまち	地域に根ざした学校を目指し、フェスティバルや音楽を通して広く交流活動を行った。				
	自然・環境に 恵まれたまち	特色ある学校づくりとして花を育てる学校が複数あった。				
総コスト (事業費＋人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		89,791	—	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	学校応援団の活動人数	人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	(説明) 市内各小・中学校で1年間に 活動した学校応援団の総人数		3,240	—	—	—	—
②							
	(説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ○ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ● C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点) (説明) 各学校における特色ある学校づくりが、それぞれの学校の実態を踏まえて進められている。また、ふれあい推進事業も、各中学校区実行委員会の計画に従って順調に進められている。取組内容が充実してきている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ○ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ● C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない (説明) 各学校における特色ある学校づくりが、それぞれの学校の実態を踏まえて進められているが、今後より一層ニーズが増えていくと考えられ、学校・家庭・地域がより一体となった活動を推進していく。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 特色ある学校づくり支援事業では、数値に表れない学校応援団等、ボランティアによる支援員の活用が進められている学校もある。今後、ボランティアによる特色ある学校づくりの推進についても研究していく必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☒ 重点化 ☒ 内容の見直し (説明) 事業としての取組を継続して推進していくと同時に、ボランティアの活用を含めた内容の充実を図る。																																																	
行政と市民の役割分担	○ I 行政の関与(役割)を拡大 ● II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大 (説明) ふれあい推進事業など、すでに市民参加による活動が定着してきている。また、特色ある学校づくり支援事業においても、地域住民の協力が増えてきている。今後も学校・家庭・地域そして行政が連携を図りつつ事業の充実を図る。																																																	
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="277 1431 770 1503" rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2" data-bbox="770 1431 911 1462">総コスト(事業費+人件費)</th> <th data-bbox="911 1431 1051 1462" rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th data-bbox="1051 1431 1192 1462" rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th data-bbox="1192 1431 1477 1462" rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th data-bbox="770 1462 911 1503">H27決算</th> <th data-bbox="911 1462 1051 1503">H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="277 1503 770 1534">1</td> <td data-bbox="770 1503 911 1534"></td> <td data-bbox="911 1503 1051 1534"></td> <td data-bbox="911 1503 1051 1534"></td> <td data-bbox="1051 1503 1192 1534"></td> <td data-bbox="1192 1503 1477 1534"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1534 770 1565">2</td> <td data-bbox="770 1534 911 1565"></td> <td data-bbox="911 1534 1051 1565"></td> <td data-bbox="911 1534 1051 1565"></td> <td data-bbox="1051 1534 1192 1565"></td> <td data-bbox="1192 1534 1477 1565"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1565 770 1597">3</td> <td data-bbox="770 1565 911 1597"></td> <td data-bbox="911 1565 1051 1597"></td> <td data-bbox="911 1565 1051 1597"></td> <td data-bbox="1051 1565 1192 1597"></td> <td data-bbox="1192 1565 1477 1597"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1597 770 1628">4</td> <td data-bbox="770 1597 911 1628"></td> <td data-bbox="911 1597 1051 1628"></td> <td data-bbox="911 1597 1051 1628"></td> <td data-bbox="1051 1597 1192 1628"></td> <td data-bbox="1192 1597 1477 1628"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1628 770 1659">5</td> <td data-bbox="770 1628 911 1659"></td> <td data-bbox="911 1628 1051 1659"></td> <td data-bbox="911 1628 1051 1659"></td> <td data-bbox="1051 1628 1192 1659"></td> <td data-bbox="1192 1628 1477 1659"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1659 770 1731">計 (単位:千円)</td> <td data-bbox="770 1659 911 1731"></td> <td data-bbox="911 1659 1051 1731"></td> <td data-bbox="911 1659 1051 1731">—</td> <td data-bbox="1051 1659 1192 1731">—</td> <td data-bbox="1192 1659 1477 1731">—</td> </tr> </tbody> </table> ☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載						事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1						2						3						4						5						計 (単位:千円)			—	—	—
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性																																													
	H27決算	H28決算見込																																																
1																																																		
2																																																		
3																																																		
4																																																		
5																																																		
計 (単位:千円)			—	—	—																																													
審議会等の第三者機関の評価(意見)	関連する第三者機関なし																																																	
部長の意見	全中学校区において、ふれあい推進事業が実施され、創意・工夫ある取組が地域の行事として根付いてきている。今後も各中学校区における事業内容について、工夫を重ねていく必要がある。一方、学校・家庭・地域の連携を図るためには、一層開かれた学校づくりが求められている。学校において地域の教育力を生かすとともに、学校を核とした活動を展開し、学校・地域、双方の連携強化につなげられるような施策の充実を図りたい。ふれあい推進事業と音楽活動事業、いずれも児童生徒の豊かな心をはぐくむ意味合いから不可欠な事業である。																																																	

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	学校・家庭・地域が連携した教育の推進			総合計画コード	314
部名	学校教育部	主管課名	教育指導課	主管課部課コード	110300
関連部課名	生涯学習部(生涯学習・スポーツ課)				

	事務事業名	総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 ふれあい推進事業	5,630	6,361	4	4	現状のまま
	2 特色ある学校づくり支援事業	67,115	67,463	4	4	現状のまま
	3 音楽活動事業	10,296	10,277	5	5	拡大
	4 家庭教育推進事業	4,147	5,690	3	3	現状のまま
	5 学校開放講座開設事業	—	—	3	3	現状のまま
	6 放課後子ども教室事業	—	—	3	3	現状のまま
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計（単位:千円）	87,188	89,791	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性